

目標達成計画

作成日: 2019年 12月 23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束に関する知識をさらに深め、職員間で共有する必要性を感じている。	身体拘束に関する知識の深化と共有で、より防止の意識の浸透を図る。	身体拘束委員会のメンバーを適宜入れ替えをし、ヒヤリハットの検討なども行う。	8ヶ月
2	11	外部研修を通しての職員の質の向上が十分ではない。	研修を通して、基本的な知識・技術の向上を図る。特に接遇等に注力する。	さまざまな研修の情報を注意深く集める。外部研修により多く参加する。接遇研修を複数企画中である。	18ヶ月
3		他グループホーム施設との連携・情報交換が不足している。	他施設の有益な運営方法・情報を活かしたグループホームとする。	グループホーム協議会の会合等に積極的に参加する。さまざまな他施設の事例を学ばせて頂く。	18ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月